
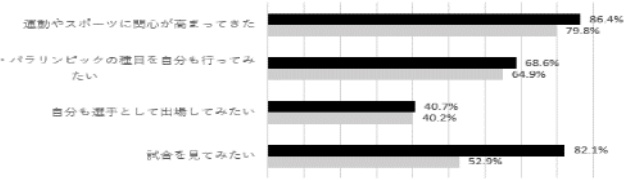


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 運動・遊び大好き！オリパラ教育推進事業推進校 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【山陽小野田市立有帆小学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童 137名 (1年23名 2年13名 3年19名 4年32名 5年18名 6年32名)
3 展開の形式	○学校における活動 ・教科名(体育科・総合的な学習の時間)
4 目標 (ねらい)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下オリパラ)を契機としたオリンピック・パラリンピック教育(以下オリパラ教育)を推進し、運動・スポーツへの関心を高めることで、児童の運動習慣の定着・改善を図る。
5 取組内容	<p>1 著名なスポーツ選手を活用した運動教室 西京銀行の女子実業団バドミントンチーム「ACT SAIKYO」の元選手を招聘し、運動教室を開催した。 対象：5・6年生児童50名</p>  <p>小学校で経験することの少ないバドミントンに触れ、競技の楽しさや面白さを知ることができた。</p> <p>2 パラスポーツの体験 山口県車いすバスケットボール連盟の方を講師に、車いすバスケットボールを体験した。 対象：4年生児童32名</p>   <p>何事にも努力することと、困難にぶつかったときも頑張り続けることの大切さを学んだ。</p> <p>3 レクリエーション協会と連携した運動遊び教室 山口県レクリエーション協会の方を講師に、運動遊び教室を開催した。 対象：全校児童</p> <p>ボッチャ体験</p>  <p>ボッチャの説明を受け、すべての人が一緒に競い合えるスポーツということを知り、体験した。</p> <p>その他の運動遊び</p>  <p>ラダーゲッターという、運動遊びを行った。ロープを投げるものなので、誰もが楽しむことができた。</p>

	<p>4 ICTを活用したオリパラに関する学び 総合的な学習の時間にICTを活用し、オリパラに関して児童がそれぞれの興味・関心に応じて学習を進めた。 対象：5年生児童18名</p>  <div data-bbox="1050 313 1396 526" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0f2f7;"> <p>オリパラの歴史や、行われている競技など自主的に調べ、クイズ形式で共有することができた。</p> </div>															
<p>6 主な成果</p>	<p>掲示を工夫し、オリパラに関する情報を提供することで、児童にとってオリパラが身近なものとなり、興味・関心を抱く児童が増えた。 県内のアスリートとの触れ合いを通じて、スポーツの楽しさを知ることができた。 ボッチャや車いすバスケットボールの体験を通して、すべての人が一緒に競い合えるスポーツの楽しさに触れることができ、共生社会を構築していく上でのスポーツの役割や大切さに気付くことができた。</p>															
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>小規模校ながらスポーツ少年団が盛んで、保護者や地域住民が大変協力的である。そこで、著名なスポーツ選手を活用した運動教室では、児童にとって、より身近で憧れを抱き、自らの生き方につなげて考えることができるように、山口県で活動しているスポーツ選手を招聘した。 車いすバスケットボールでは、子供たちに車いすバスケットボールを実際に経験させる場を設定することで、競技の難しさや選手のすごさに触れ、パラリンピックに関する興味を高めるようにした。 アスリートの動きを一緒に活動することで、体感できる場を設定した。児童にとって思い出になるだけでなく、スポーツへの興味を高めることにつながると考えた。 レクリエーション協会と連携した運動遊び教室では、山口県レクリエーション協会の方を講師に、運動遊び教室を開催した。昨年度、県レクリエーション協会の方を講師にすることで、教員の知らない新しい運動遊びの情報を得ることができたり、児童への声掛けや遊び方を学んだりすることができ、運動教室後も担任を中心として手軽に実施できるため、今年度も引き続き依頼をした。</p>															
<p>8 主な課題等</p>	<p>今回の活動に対して、子供たちからは「楽しかった」という声が多く聞こえた。しかし、アンケートの結果から、オリパラに対する関心が全体的に去年よりも低くなっていることが分かった。体験したことをどう生かし、実践につなげていくか。そして、「する・みる・支える・知る」をバランスよく実施していくことについては、体育科を中心に様々な教科と関連付けながら実施していきたい。 また、運動習慣定着に向けて、今回の取組だけで終わるのではなく、子供たちが継続的に取り組めるような場を地域等と連携しながら設定していきたい。 さらに、スポーツをしている児童の人数の割に「オリンピックに出場してみたい」と考えている児童の人数が少ないため、オリンピック選手の講演等を通して子供たちのキャリア教育にもつなげていきたい。</p> <div data-bbox="510 1556 1236 1803" style="text-align: center;"> <p>オリンピック・パラリンピックに関するアンケート</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動やスポーツに関心が深まった</td> <td>86.4%</td> <td>79.8%</td> </tr> <tr> <td>オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい</td> <td>68.6%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>自分も選手として出場してみたい</td> <td>40.7%</td> <td>40.2%</td> </tr> <tr> <td>試合を見てみたい</td> <td>82.3%</td> <td>52.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	令和元年	令和2年	運動やスポーツに関心が深まった	86.4%	79.8%	オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい	68.6%	64.9%	自分も選手として出場してみたい	40.7%	40.2%	試合を見てみたい	82.3%	52.9%
項目	令和元年	令和2年														
運動やスポーツに関心が深まった	86.4%	79.8%														
オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい	68.6%	64.9%														
自分も選手として出場してみたい	40.7%	40.2%														
試合を見てみたい	82.3%	52.9%														
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>「する・みる・支える・知る」をバランスよく実施していく観点から、来年度はあらかじめ年間指導計画に位置付け、オリパラ教育を計画的に実施していきたい。 具体的には、総合的な学習の時間とも関連させた5年生の取組をモデルとし、全児童がオリパラの内容・歴史等の理解を深める機会を設定したり、人権教育参観日と関連させたり、図画工作科等様々な教科との関連を図ったりし、オリパラ教育を進めていきたい。</p>															

